

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院(以下、当院)では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、当院薬剤師を対象に副作用報告体制の実態調査を行います。その際、患者さんの個人情報等を取り扱うことはありません。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

医薬品の副作用報告管理体制の実態調査と業務改善に向けた取り組み

【研究目的】

医薬品の副作用報告は、医薬品を安全使用する上で重要な情報の一つです。現在、医薬品医療機器等法には医薬品・医療機器等安全性情報報告制度が定められています。全ての病院や薬局等における医療関係者等が厚生労働大臣に報告する制度ですが、医療現場では日々の業務が多忙であること等から十分な報告に至っていないことや報告者または医薬品によって報告に偏りが認められる場合があります。

そのため、当院の薬剤師を対象に副作用の報告およびその管理体制の実態を調査し、問題点や課題点を抽出することでそれに対する改善策を提示し、副作用報告の増加や報告症例の質の向上を図ることを目的としています。

【研究意義】

当院における現状の副作用報告管理体制に関する問題点等を明確化し、薬剤師業務の効率化や標準化を図り、医薬品副作用報告の推進に繋げることが期待できます。

【調査対象】

当院薬剤師を対象に無記名式のアンケート調査を実施します。当院における副作用報告は薬剤部の薬品情報管理室で一元的に管理しています。一方、院内の薬剤師等へ情報共有される際には個人情報除かれ、副作用の情報のみへデータを処理・加工した形式で共有されるため、患者さん個人の不利益となることや危険性はありません。

【調査方法】

対象は 2018 年度(1 年間)に薬品情報管理室へ報告された副作用情報とし、報告の体制や方法、共有される加工情報に関して満足度や問題点等を把握するため、病棟の薬剤師を中心に無記名式のアンケート調査を実施します。その際、患者さんの個人情報を取り扱うことはありません。

【個人情報の取り扱い】

アンケート調査を実施する各薬剤師に目的・方法等を明示して了承が得られた薬剤師で実施します。なお、アンケートの提出を以て、本調査への同意取得とします(アンケート内記入)。その際、個人を特定することはできません。

加工情報については名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報は除いて匿名化しています。そのため、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。

研究成果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容にも個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹 範明

【研究実施体制】

研究機関: 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者: 助教/副薬剤部長 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号: 089-960-5744

研究分担者: 薬剤部長 田中亮裕

副薬剤部長 田中 守

室長 高田 裕介

松山大学薬学部 准教授 相良 英憲

松山大学薬学部 藤原 綾佳

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号: 089-960-5744